

編集後記

「深根固柢」 （しんこんこてい）

=物事の基礎・根本をしっかりと固め、揺るがないようにすること=

帯広の森市民植樹祭40周年を、迎えるに当たり、実行委員会で決定したテーマです。

「帯広の森」は10年前に市民参加の植樹祭と育樹祭が終わりました。この10年は、帯広の森利活用計画では、第2ステージの森を育てながら利活用を進めていく時代です。このステージはまだ10年以上続くと思います。

次なるステージに思いを馳せ、あと60年経ったときに「帯広の森」は帯広十勝の皆様方にどのように思われ、慕われているのか。今を生きる私たちにとって、楽しいことです。

帯広十勝は、先住民族のアイヌの人々が暮らしていた地域に、133年前に依田勉三を長とした晩成社が開墾の鋤をおろし、拓かれた地域です。爾来、近代合理主義による拓殖計画の基、今の帯広の街が創られてきました。日本の街づくりの基をなした、封建的階級制での街づくりの歴史を持たない稀有な地域中核都市です。街を象徴する神社仏閣、お城、広場のような見える形がない街ともいえます。

市民によって創り創られてきた帯広。その様な街に故吉村博元市長は、日本中が高度経済成長の時代に、『緑』を中心に据えた街づくりをされてきたのだと思います。その集大成が「帯広の森」であったのだと思います。私たちひとりひとりが、帯広に住み生きることの問いかけに、どのように答えるのか。それは、私たちの日常生活の営みの中で、「帯広の森」を心と体でどの様に受け止め、行動するのか。それが、永久に続く帯広市民の在り方だと思います。

帯広の森40周年記念事業に当たり多くの市民の皆様の参加とご協力を戴きましたことに感謝申し上げ、来るべき50周年に期待しながら、編集後記といたします。

（実行委員会 事務局 山田記）

帯広の森 私たちと帯広の森づくり Vol. 3

編集・発行	帯広の森40周年記念事業実行委員会 〒080-8670 帯広市西5条南7丁目1番地 帯広市役所都市建設部みどりの課内 電話 0155-65-4186（係直通）
発行年月	2015年3月
印刷所	大同出版紙業株式会社 〒080-0017 北海道帯広市西7条南6丁目2番地 電話 0155-23-5107

